

【授業改善テーマ】 考えを出し合い、いきいきと学び合う授業

【授業改善の重点】

1. どの子ども課題に対する自分なりのやり方を持つことができる授業の推進
2. 学び合いの場を設定し、共通した考え方を見つけて課題解決に向かう授業の推進

【取組内容】

- ① 課題に対する自力解決の場を保障し、自分なりのやり方を一人一人に持たせる手立てを工夫する。
- ② 学び合いⅠ（ペア・グループ学習）と学び合いⅡ（一斉学習）を設定し、共通した考え方を見つけて課題解決に向かう学習活動を工夫する。

## 授業実践

【取組内容】

- ① 自力解決の手立てと工夫
  - ・ 既習事項の確認
  - ・ ヒントカード・ワークシート等活用
  - ・ 個別の支援
  - ・ 図や絵等を使った説明にまとめる
- ② 学び合いの手立てと工夫
  - ・ 気づかせたいものに合ったグループビンク
  - ・ 全員の児童に互いの考えを伝え合う場の設定
  - ・ ねらいに沿ったくくりとネーミング
  - ・ 共通した考え方の拾い出しと板書への位置付け

【取組指標】

- ① 毎時間、児童のノート点検。校内研修での検証を通して授業改善に役立てる。
- ② 各単元に1回以上学び合いⅠ・学び合いⅡの場を設定。振り返りカードで自己評価させ、変化をとらえて授業改善に役立てる。

管理職の授業観察

## 研究授業

【4月～7月】

- 「堅徳小スタイル」の展開と目指す授業像の共有化を図るための授業

6/7 5年生提案授業

- 問題点を洗い出し、研究内容を焦点化する為の互見授業

6月第3週・4週  
 第1回 6年生  
 第2回 2年生  
 第3回 3年生  
 第4回 4年生  
 第5回 1年生



【9月～12月】

- 取組内容検証のための提案授業

- 修正した取組内容の有効性確認、さらに改善するための授業

9/ 7 6年生提案授業  
 10/12 4年生提案授業  
 11/ 9 2年生提案授業  
 12/ 9 1年生提案授業

## 研究協議

【4月～6月】

＜目指す授業像の明確化＞

- 児童の実態把握と問題点の共有化
- 「堅徳小スタイル」による授業展開の共通理解
- 「授業改善の5点セット」の共通理解
- 「生徒指導の三機能」の生かし方

- 授業改善における課題の把握と目指す授業像の共有

【7月～8月】

＜効果的な指導法の研究＞

- 学校評価等の結果分析と改善策検討
- 県、全国学力調査分析による課題把握
- QU調査による学級集団診断と学びに向かう集団づくりの研修

【9月～12月】

＜効果的な指導方法の確立＞

- 研究授業の指導案審議
  - ・ ねらい、主眼、発問、まとめの整合性
  - ・ 「自力解決」「学び合い」の設定と手立て、支援の工夫
  - ・ 評価と評価基準
- 研究授業の事後研修
  - ・ 取組内容、取組指標、検証指標に基づく検証改善
- 効果的な指導法の確立と共通理解
- 日常の授業における実践交流
- 学校評価、アンケートの結果分析と改善策検討

【1月～3月】

＜検証・次年度計画案策定＞

- ・ 学校評価の結果分析と改善策検討
- ・ 津久見市学力調査結果分析、課題把握
- ・ 「授業改善の5点セット」の見直し、改善
- ・ 次年度の研究主題検討